

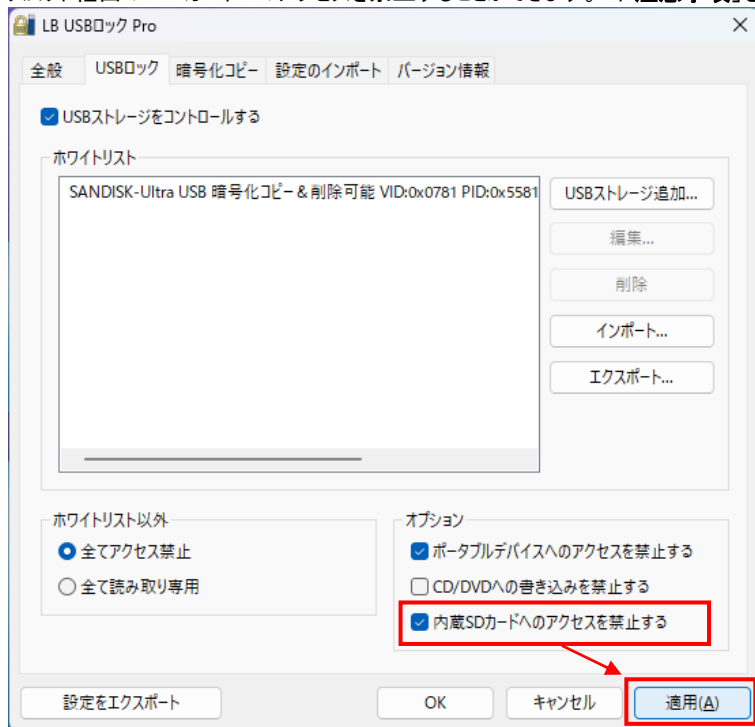
Ver. 1.1.6 では以下の機能が追加されています。利用ガイドと併せてご利用ください。

1. SD カードの利用制限
2. ホワイトリストの CSV エクスポート／インポート

## 1. SD カードの利用制限

Ver. 1.1.6 より、PC 内蔵 SD カードスロット経由の SD カード※の利用を禁止することが可能になりました。

「USB ロック」タブ(ホワイトリストの登録画面)より、「内蔵 SD カードへのアクセスを禁止する」をチェックして「適用」をクリックすると、PC 内蔵 SD カードスロット経由の SD カードへのアクセスを禁止することができます。(「注意事項」をお読みの上ご利用ください)



※ SD/SDHC/SDXC、miniSD、microSD/SDHC/SDXC

### 注意事項

PC 内蔵の SD カードスロットは、機種により PC 内部での接続方式が異なり、「内蔵 SD カードへのアクセスを禁止する」で禁止できないものが存在します。

以下の機器は「内蔵 SD カードへのアクセスを禁止する」の対象外になりますが、ホワイトリストに追加してアクセス制御することができます。

- SD カードスロットが PC 内部で USB 接続されているもの
- USB 接続の外付け SD カードリーダー

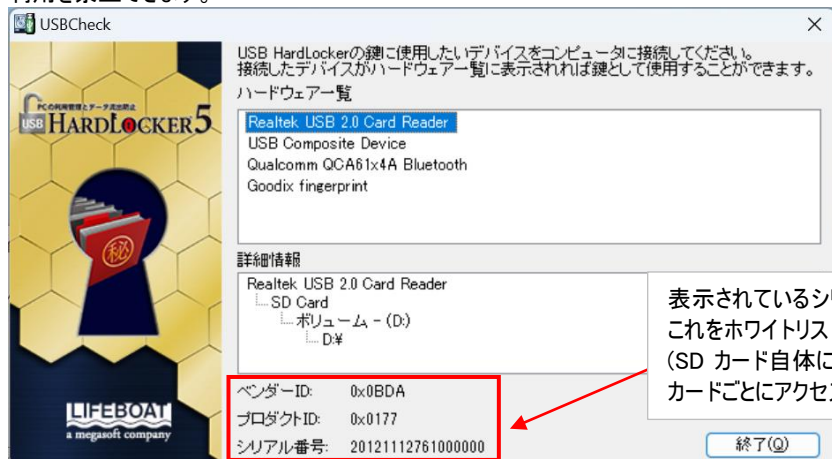
SD カードスロットが USB 接続であるかどうか、下記の「接続方式の確認方法」で確認することができます。

### ＜接続方式の確認方法＞

右記の URL から USBCheck ツールをダウンロードします。 [https://www.lifeboat.jp/products/usb/usb\\_check.php](https://www.lifeboat.jp/products/usb/usb_check.php)

このツールはインストール不要で利用できます。ダウンロードしたファイル「USBCheck.exe」を実行すると「USBCheck」が起動します。

ツールの起動後※、SD カードスロットに SD カードをセットしてください。ハードウェア一覧に表示されたら、そのカードスロットは「USB 接続」です。利用の可否はホワイトリストへの登録で制御できます。一覧に表示されない場合、USB 接続でないため「内蔵 SD カードへのアクセスを禁止する」をチェックして利用を禁止できます。



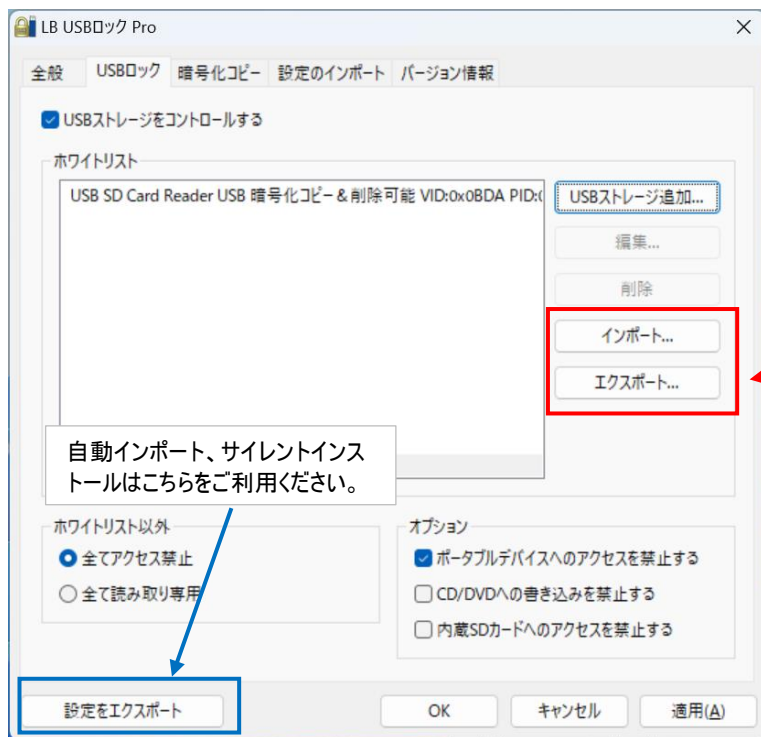
※ 多数の機器(ネットワークアダプタ、指紋リーダー、Bluetooth アダプタ他)が内部で USB 接続されている可能性があります。これら機器と間違えないために SD カードはツールの起動後にスロットに装着してください。

表示されているシリアル番号は「カードリーダー」のもので、これをホワイトリストに追加することで USB SD カードリーダーが利用できます。(SD カード自体には USB メモリー同様のシリアル番号がないため個別の SD カードごとにアクセス制御することはできません。)

## 2. ホワイトリストの CSV エクスポート／インポート

ホワイトリストのCSVエクスポート／インポートに対応しました。複数PCへの導入時、配布用のホワイトリストを作成、編集する場合に便利です。

- ※ 扱えるのはホワイトリストに含まれるストレージの情報だけです。CSVを「サイレントインストール」「自動インポート」に利用することはできません。編集したCSVを「サイレントインストール」「自動インポート」に利用する場合はCSVをアプリに読み込んだ後、左下部の「設定をエクスポート」を利用して専用の設定ファイルをご用意ください。
- ※ 文字コードはSJISのみ対応
- ※ インポートを実行すると、既存のリストが破棄されます。現在のリストに機器を追加する場合、はじめにエクスポートを実行してCSVに機器情報を追加後、CSVインポートを実行します。



### <ホワイトリストの仕様>

ホワイトリストの編集／作成時は、以下の仕様を参考にしてください。

#### Excelにて開いたホワイトリスト

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	0	0	0x056E	1	0x605A	0	0708163063AE2D	1	ELECOM	0	MF-USB3	
2	0	1	0x056E	0	0x6049	1	07080A41C1943F	0	ELECOM	1	MF-PKU3	
3	0	1	0x3538	1	0x0901	0	02AB000000000000	0	PQI	0	PQI USB Flash Drive	

列	内容	説明
A	属性	“1”で読み取り専用。“0”で設定なし。
B	ベンダーIDチェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
C	ベンダーID	16進数を表現できる文字で4桁まで。先頭が“0x”なら無視。
D	プロダクトIDチェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
E	プロダクトID	16進数を表現できる文字で4桁まで。先頭が“0x”なら無視。
F	シリアル番号チェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
G	シリアル番号	
H	製造者チェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
I	製造者名	
J	プロダクト名チェックの有無	“1”で有効。“0”で無効。
K	プロダクト名	